

「ポーランド国際大会を通して」

愛知工業大学 岡田琴菜

今回、日学連代表として、ポーランドのヴロツワフへ行き、国際大会に出場させていただきました。私自身、海外の国際大会に出場されてもらうのが初めてだったので、不安もありましたが色々な方にサポートしてもらったおかげで、充実した海外遠征になりました。国際試合では普段とは違う緊張感であったり、会場の雰囲気味わうことができました。また、現地の文化、生活を通して多くのことを学びました。「スポーツは世界の共通言語」ということも改めて気付かされました。

私が印象的に残ったのは、ヨーロッパの選手との試合です。日本人選手と違ってパワーがあり、ボール自体がすごく重い感覚とすぐに台から下がってプレーする選手が多いと感じました。また、試合の一球一球の間合いが短く、戦術的にもヨーロッパ選手ならではの面白い得点の仕方に驚き、私自身もすごく勉強になりました。

生活では、現地に着いた時に水がなく炭酸水が支給されたことに驚きました。しかし、主催者の方の配慮ですぐに水を準備してくださったこと、帯同してくださったスタッフの方が水分の確保のため動いてくれました。主催者やスタッフの方が居てくださることで卓球ができることに感謝を忘れないようにしたいです。

今大会を通して、日学連代表へ選出していただいたことに感謝し、この経験を活かし今後の大会で活躍できるよう精進して参ります。